

バグダッド日誌（2月6日）

○嵐の後遺症

2月3日～4日にかけてバグダッドは大荒れの天気となった。この影響で停電は2月3日～5日にかけて続き、昨日夕にようやく通電した。しかしながら本日になっても時折停電が発生しており、完全復旧には遠い状況である。

我々日本隊コンテナはキャンプ・ビクトリー内の通称コアリション・ストリートに面した場所にあり、各国の連絡幹部の事務所が並んでいる。コアリション通りを通てみると嵐のため屋根が吹き飛ばされたプレハブは、先日この日誌に記述した日本隊の隣のプレハブだけではなく、コアリション・ストリートに面する5ヶ所のプレハブ事務所の屋根が吹き飛ばされていた。このうちポーランドの事務所は全壊しており、先日の嵐の爪痕を見る思いだった。

日本隊についても嵐の影響が出ており、テレビ電話・ファックス、電話が停電・雷の影響でヒューズが飛んでしまったようで使用できない状況となってしまった。日本にこれらの故障を連絡すると、物品の交換・当面の対応について素早いケアをして頂いた。いつもながらの日本からの手厚いサポートにバグダッド連絡班一同感謝しております。

（バグダッド連絡班一同）

○アメリカン・フットボール

アメリカン・フットボールのチャンピオンシップを決める「スーパー・ボール」がイラク時間の朝4時から実施された。このため、最近の米軍との調整は、まずアメフトの話題からはじまるのが通例となっており、今日は、結果に関する話題で調整にならない程であった。

スーパーボールは、アメリカ人にとっては、「特別のイベント」のようでその熱狂ぶりはすごかった。昨日のケーシ大將に対するモーニング・レポートの情報要約は、まず「スーパー・ボール予想」が報告され、報告会場が大爆笑となっていた。また、本日のモーニング・レポートは通常7時30分から開始するところ、「スーパー・ボール」のため9時からの報告となった。また、本日の夜にはライブで見れなかった人のためにビデオ上映を実施することになっている。

しかしながら、米軍の熱狂とは対照的に英・豪軍等コアリションの冷やかな態度が印象的だった。



バスラLO日々業務報告（2月6日1900）

区 分	内 容
1 警戒態勢	バスラ空港 [REDACTED] [REDACTED] (警戒態勢): [REDACTED]
2 特記事項	(1) [REDACTED] (2) [REDACTED] [REDACTED]
3 本日の業務	(1) 情報要求対応 SSR (ISFの戦力化の状況)、MND(SE) の将来計画、IED及びIDF関連情報、デモ関連情報等 (2) 定例情報収集: [REDACTED] (3) 定例会議への出席: 幕僚会議、J2・J3・J9認識統一会議 (4) 空路輸送等調整 (5) C-IED会議への出席 (6) CME会議・J4会議調整
4 明日の予定	(1) 情報要求対応、定例情報収集 (2) 定例会議 (3) CME会議・J4会議調整 (4) 空路輸送等調整
5 その他(備考)	